

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2026年 2月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	0		0
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	1		1
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由遊びができる空間とプログラムに取り組む空間をカーテンやシャッターで仕切ることが出来る点。またおもちゃをしまう場所は写真付きで示されていることで子ども自身が選び取ったり片付けたりしやすくなっている。</li> <li>・ラベリングが行き届いている。</li> <li>・フロア、手洗い場、トイレとバリアフリー(※)環境</li> </ul>	0
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状で良いと思う。</li> <li>・掃除については充分に行なっていると感じる</li> </ul>	0
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別室（個室）で状況に応じて対応できる環境がある。</li> <li>・クールダウンできる小部屋がある。</li> </ul>	0
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉所後の振り返りなどがある</li> </ul>	3
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		8
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のミーティング（一部スタッフ）を行っている</li> </ul>	3
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		11
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日参加できなくても後日資料を確認する点。</li> <li>・法人内研修が定期的に開催されている</li> </ul>	1
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	0		1
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	18	0		3
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管の作成前にカンファレンスを行っている。</li> </ul>	5
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	0		1
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマルなアセスメントは利用していない</li> </ul>	2
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		5
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回会議で決めている</li> <li>・月1回の職員会議で立案を行っている</li> </ul>	6
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じおやつ作り、造形などのプログラムでも、季節や行事に合わせて材料を変えたり、子供がより豊かな体験を積めるように工夫されている点。</li> <li>・曜日を配慮してプログラムを決定している</li> <li>・季節に合った造形やおやつ作り等工夫</li> </ul>	3
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	19	0		2
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合せをしない時もある。</li> <li>・非常勤スタッフの打ち合せは行っていない。</li> </ul>	4

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	・必ず打ち合わせということではないよう思います、すぐに話せる状況にあると思います。 ・記録を書く時間で振り返りを行っている。	・必ずではない。	5
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	0	・記録の取り方についての研修があり、役立っている ・自分の記録だけでなく、他のスタッフさんの記録も過去にさかのぼって確認する		0
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	0			4
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	12	0			9
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	18	0	・おもちゃはバランスボール、平均台、縄跳びなど身体を動かして楽しめるもの、パズル、積み木、ぬりえなど集中して完成の達成感を楽しめるもの、ぬいぐるみやブランコ、おままごとセットなど想像を楽しめるものなど幅広い遊びに対応できるものが多く、それぞれの子どもが好みに合ったものを見つけたり自分の好みを広げたりできる点。またプログラムの中でも指定されない状況の中で自		3
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1			10
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2			8
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	18	0	・学校での様子やアケを踏まえた支援などはパートタイム労働者にも共有されます。		3
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	3	・保護者を通じた情報共有を行っている。		8
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	1	・分からぬ。保護者には面接時に話を聞いています。		9
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3			10
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	11		・私が失念しているだけかもですがそらといった機会は少ないように思います。	7
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3			12
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	1	・連絡帳や個別連絡を通して子どものニーズに合わせて支援内容を調整していると思う。		4
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5			9
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0			7
	37	保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0			6
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	0			5
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0			7
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	9	・特に要望は出ていよい。		8
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0			6
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	19	0	月1回の通信の発行、行事予定を発信している		2
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0	・資料の伏字やシルエットを用いた処分など留意していると感じます。		1
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	・感情カードや○×カードがいつでもすぐ手に取れる場所に掲示されている点。		3

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	10			7
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	1	・実際想定した訓練はしたことないがそれぞれの項目において考えたことはあるし緊急時に対応できるように準備はある		0
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	1	・机上訓練をしている		1
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20	0	・新しい情報や緊急性の高い情報があつた際には業務連絡のファイルに記載されたり職員さんから直接スタッフに報告があつたりと子供の状況をスタッフ全員で共有できるようになっている点。 ・細かくは把握していないが主要メンバーについては念頭にある		1
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	1	・保護者からの情報共有による対応をしている。		3
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	0			4
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0			8
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	20	0	丁寧に状況把握と再発防止に向けた検討を行ってくださるとともにその内容を業務連絡ファイルを通じ迅速に全スタッフが確認できるようになっている点。 ・記録（ヒヤリハット）として残っているもののが少ない。	・事故報告については多数共有しているがヒヤリハットの件数は少ない。	1
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0			1
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	18	0	・半年ごとにモニタリングをして同意を得ている。		3

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達センター びいば	公表日	2026年 2月 1日				
利用児童数	2026年2月1日 39名	回収数	30名				
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	0	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	2	0	1	・他の施設よりもスタッフが多く安心感がある	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	0	1	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	1	0	・責任者の変更があり質が下がった。運営などを中心に考えるようになった。	・皆様が満足して楽しんでいただけよう今後もやってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	1	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	7	11	9	・他所同様にない ・他の子どもとの交流の必要性は感じていませんのでなくていいです ・しなくていいです	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	9	9		
保護者への説明等	15 曰頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2	1	0	・連絡帳では良い面を伝えられ、急に困る面を伝えられ退所を促された。	・帰りの送迎時などで情報共有できるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2	0	1	・コミュニケーションの機会は助言と言うより、運営上的一方的な依頼が多い	・将来のごとも含めて面談等で話ができるべきだと思っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	2	1	・困ったことがあるとすぐご相談できてご助言頂けるのでありがたいです ・大部分の職員さんは、共感されているが、一部そうではない方がいる。	・職員間で振り返りを行ないたいと思います。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	13	12	・しなくていいです。 ・分からぬか時に問題ない	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	4	1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	0	0	0		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1	1	0	・メールの宛先誤送信1件	・相手先をしつかり確認して誤送信を防ぎたいと思います。	0
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	0	2			0
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	0	2			0
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	0	2			0
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	0	3			0
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	・通所を楽しみにしている。		0
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	0	・いつも送迎バスが来るのを楽しみにしています		0
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	1	0	・日々の子供の対応には満足。保護者対応は今年に入り不満	・職員間で振り返りを行ないたいと思ひます。	0

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	びいほ			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 29日 ~ 2026年 1月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 29日 ~ 2026年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数)	21名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの工夫	月ごとに変化をつけてプログラムの立案を行っている。 内容に偏りがないように調整をしている。 職員間で相談をして行っている。	さまざまなスタッフやメンバーの意見を参考に活動の企画を検討する。 利用者の発達や実態に即した個別のプログラムの検討。
2	定期的に研修会を行なっている	さまざまなテーマに沿って全スタッフを対象とした研修を行っている。 日々の支援について相談・振り返りを行っている。 活動記録を活用して情報の共有をしている。	非常に勤務スタッフからの研修会の内容の希望を聞いてみる。
3	支援計画に沿った支援を行っている	支援に入る前に毎回個別支援計画の確認をしている。 記録に日々の変化や気になる様子を書き共有している。個別支援計画に沿った本人にあった支援を行っている。連絡帳や個別連絡を通して子どものニーズに合わせて支援内容を行っている。	確認しやすいようにどうしたらいいか、ICTの活用も視野に検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の振り返り・共有時間の不足	正職員の人数が少ないため1人の仕事量が多い。活動終了後も事務作業があり振り返りや共有の時間の不足に繋がっている。	ICTを活用し、事務時間を減らす。業務管理ソフトなどの導入。記録の簡素化等。
2	外部との連携	人手不足のため連絡会や相談の場への参加が難しかった。	他事業所との連携の強化。
3			